

琉球の「大航海時代」を読み解く

琉球弧叢書 ⑳

内田晶子・高瀬恭子・池谷望子 著

アジアの海の古琉球

東南アジア・朝鮮・中国

A5・上製 三二〇頁、定価五〇四〇円（本体四八〇〇円＋税）

薩摩の琉球侵略以前の、いわゆる「古琉球」は、中国はもとより朝鮮・東南アジアを舞台に活躍した海洋交易国家であった。しかしながら十四世紀から十六世紀に至るこの時期、琉球は統一国家への過程にあり、直接の史料は全くといっていほど残されていない。

その中で、琉球の外交文書集ともいえる『琉球歴代宝案』、朝鮮王朝の編年記録である『朝鮮王朝実録』、そして同じく中国の『明実録』は、古琉球に関する信頼性のある同時代史料ということができよう。

本書の著者三氏は、沖縄県の委託を受けて『歴代宝案』の編纂事業に深く関わってきた。そこからみえてくる古琉球の実像に新しい光をあて、従来の通説・俗説にとらわれずに様々な事象を抽出した論考が本書である。

いわゆる「琉球の大航海時代」といわれているこの時代は、いわば琉球王国の国家形成期でもあり、その分析は「三山統一」や「第一尚氏時代」に側面から光をあてることにもなっていく。

琉球史研究に一石を投じる待望の書である。

（裏面に目次抄録あり）

『歴代宝案』・『朝鮮王朝実録』・『明実録』 からみえてくる古琉球の実相！！

注 文 書

帖合・書店名

流通センター
取扱品
地小版

受付 年 月 日

発行所	琉球弧叢書 ⑳
	内田晶子・高瀬恭子・池谷望子 著
	東南アジアの海の古琉球
	ISBN978-4-89805-133-7 C1321
定価	5,040 円 (本体4,800円+税)
注文数	冊
注文者	
	〇九八八八九三四〇七六 FAX 〇九八八八九三六七〇八
	〇九八八八九三六七〇八